

特色ある取組

○大学院改組

京都教育大学大学院連合教職実践研究科は、専門職大学院の一つとして教職大学院が制度化された平成20年度、「京都連合教職大学院」として創設されました。京都教育大学を基幹大学とし、私立7大学(連合参加大学)と京都府・市教育委員会との協働を実現した日本で最初の国私立連合による教職大学院です。

令和4年度からは、新たに私立2大学が連合に加入し、京都における教員養成の高度化と教員研修(教員育成)のさらなる発展と充実を目指しています。

＜新たな連合教職実践研究科＞

学校臨床力高度化系 (募集人員 50名)	初任期教員養成コース 中核教員・リーダー教員養成コース
教科研究開発高度化系 (募集人員 45名)	人間発達探究コース 教科学習探究コース

期待できる成果・評価

○連合による効果

・多彩な教員を確保して教育内容を充実

連合参加大学から各1名研究者教員派遣 計9名
 京都府・市教委から実務家教員派遣 府・市各5名 計10名
 京都教育大学附属学校から実務家教員参加 計7名

・多様な大学・学部を卒業した教職への強い志を有する学部卒業生と地域のスクールリーダーとなる現職教員院生が交流し、ともに学ぶことによって、教育課題に対応する教員の中心的役割を担う人材となります。



参考URL

・京都連合教職大学院の概要

https://www.kyokyo-u.ac.jp/sk_ss/rengou/